

北栄町中小企業・小規模企業振興基本計画に基づく取組評価

平成30年12月に策定した「北栄町中小企業・小規模企業振興基本計画」に基づき、中小企業・小規模企業の振興に取り組みましたので、令和3年度の取組評価を報告します。

〈総括〉

○「観光客に魅力ある取り組み」については、新型コロナウイルス感染拡大が大きな影響を及ぼしており、県外客は減少し、海外からの誘客はほぼ無い状態が続いています。

○「創業支援の取り組み」については、地方移住や地元へのUターンの機運が高まっているなか、オンラインツールを利用した移住相談会の開催等により、移住者数の実績値は増加しています。

○「関係産業団体との連携」については、道の駅北条公園のリニューアルオープン(令和7年4月予定)に向け、6次産業化に係る新たな商品開発件数は増加する見込みです。

斜線部分は総合戦略に掲載されていない項目

1 重要業績評価指標(KPI)の達成状況(令和3年度)

| | 発展的施策の取組方針 | 重要業績評価指標(KPI) | R1基準値 | R2実績 (1年目) | R3実績 (2年目) | 2年目評価 | R7/R12目標値※ | 目標値 |
|----|------------------------------|---|-------------------|----------------------|----------------------|---------|-------------------|-----|
| 1 | 企業の経営革新に向けた取り組み | 町内企業の経営革新に関する計画認定件数(地域未来投資法等) | 1社 | 1社 | 4件 | | 11社/11年 | R12 |
| 2 | | 町内企業増設社数(企業立地促進奨励金申込み件数) | 4社/年 | 4社/年 | 5社/年 | 順調 | 33社/11年 | R12 |
| 3 | 企業訪問による各分野で抱える課題の把握 | 町内企業への訪問件数 ※町実施分 | 74社 | 38社/年 | 20社/年 | | 440社/11年 | R12 |
| 4 | 観光客に魅力ある取り組み | 青山剛昌ふるさと館入館者数(インバウンド受入数) | 22万人/年 (2万人/年) | 6万4千人/年 (400人/年) | 8万1千人/年 (800人/年) | | 20万人/年 (3万人/年) | R12 |
| 5 | | 町内主要観光施設入込客数 | 76万人5千人/年 | 45万6千人/年 | 40万人/年 | 遅れている | 105万7千人/年 | R12 |
| 6 | | 鳥取県中部圏域観光入込客数 | 176万1千人/年 | 180万8千人/年 (R1年) | 124万6千人/年 (R2年) | 遅れている | 250万人/年 | R12 |
| 7 | | 民泊事業者の増加 | 1事業者 | 0事業者 | 0事業者 | | 3事業者 | R12 |
| 8 | 地域内循環の拡大に向けた取り組みの推進 | 町内企業への公共事業等の受注割合 | 64% | 47% | 43% | | 80% | R12 |
| 9 | コーディネート機関の活用 | 北栄町商工会加入者数 | 377社 | 400社 | 402社 | 順調 | 380社 | R12 |
| 10 | 学校での取り組み | 高校卒業後、地元を離れたが将来は地元に戻って就職したいと思う人の割合 ※成人式アンケート | 51.00% | 数値なし ※成人式延期のため | 50.00% | 遅れている | 55% | R7 |
| 11 | 企業の求める人材と求職者のマッチング | 職業能力向上研修者(町内受講者)の正規雇用者数 | 7人/年 | 5人/年 | 5人/年 | やや遅れている | 45人/6年 | R7 |
| 12 | | 企業立地促進奨励金利用雇用者数 | 6人/年 | 8人/年 | 0人/年 | 概ね順調 | 40人/6年 | R7 |
| 13 | 企業と連携した女性、障がい者が働きやすい環境づくりの推進 | 男女が平等に参加できる社会づくりに対する満足度 ※町民アンケート | 51.90% | 数値なし ※調査は令和7年度に実施 | 数値なし ※調査は令和7年度に実施 | 評価なし | 70.00% | R12 |
| 14 | | イクボス・ファミボス宣言取り組み町内企業数 | 16社 | - | 18社 | | 30社 | R12 |
| 15 | | 育児について相談したり、話したりする人があると答える人の割合 | 98% | 93.6% (3歳児健診) | 99% (3歳児健診) | 順調 | 100% | R7 |
| 16 | 事業承継の取り組み | 事業承継件数 | 35社 | 36社 | 県の調査未実施 | 評価なし | 60社 | R12 |
| 17 | 創業支援の取り組み | 町内起業家数(創業支援事業) | 3社/年 | 4社/年 | 4社/年 | 順調 | 33社/11年 | R12 |
| 18 | | 移住相談会へ参加 | 8回/年 | 10回/年 | 10回/年 | 順調 | 10回/年 | R12 |
| 19 | | 移住者数 | 66人/年 | 79人/年 | 91人/年 | 順調 | 75人/年 | R12 |
| 20 | | 特定創業支援認定者数 | 5件/年 | 5件/年 | 7件/年 | 順調 | 30件/6年 | R7 |
| 21 | 関係産業団体との連携 | 6次産業化に係る新たな商品開発件数 | 1件/年 | 1件/年 | 1件/年 | やや遅れている | 3件/年 | R12 |

※目標値中の目標年度は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は令和7年度、「まちづくりビジョン」は令和12年度。

2 第2次計画の策定における新たな視点

(1) 社会環境の変化

- ・ポストコロナでの経営の見直し、事業再構築・多角化等…
- ・顧客ニーズの変化へ対応するため新たな分野での事業展開

→事業再構築・多角化、副業・兼業人材の採用、DXに関する国・県・町の施策の周知

(2) 働き方の変化

- ・若年層を中心とした就業者の減少、人手不足によるサービスの縮小
- ・DX推進のための人材不足
 - 複業人材の活用
- ・人材不足による業務量の増大
 - 経営課題解決のためのデジタル技術の有効活用

(3) 町独自の施策

- ・R7.4の道の駅「北条」のリニューアルオープンによる、周辺の産業の活性化。

- ・ほくほくカード
 - 地域経済の活性化

※DX(デジタルトランスフォーメーション)企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること(経済産業省の定義)

※複業 本業として営む事業を複数かかえていること